

## 身体拘束防止のための 転倒骨折予防アセスメント

**日程** 令和4年2月22日(火) (10:30~15:30)

**対象者** 介護福祉関係者 推奨職員:(初級~中級・介護・施設)  
及び興味のある方

**料金** 会員(法人・個人) 7,000円 ・ 一般 8,000円

**会場** 振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階)  
\*みなとみらい線「日本大通り」駅 徒歩5分

### 《カリキュラム》

#### ■身体拘束と介護事故の実態■

- ・身体拘束とは
- ・どんな事故が起きているのか

#### ■現場に潜むリスクの回避■

- ・転倒・転落予防アセスメント術
- ・転倒事故防止の  
具体的な観察のポイントとケア  
~身体状況・疾病・環境・薬剤~

#### ■事故発生時の対応■

- ・発生時の観察ポイント  
~大腿骨頸部骨折事故から検証~

#### ■介護事故防止体制■

- ・ヒヤリ・ハット事故報告書の書き方
- ・事故原因の分析方法

利用者の安全を守るための転倒防止策、間違ってますか？

もしかしたら、それは身体拘束かも!?

高齢者の転倒予防策を様々な方法で図っているにもかかわらず、どうしても事故は発生します。

本セミナーでは、転倒の原因になる観察ポイントから予防方法、事故発生時の対応や事故後の事故要因分析の手法等を学びながら、現場でできる転倒予防や再発予防に向けた介護実践事例を紹介します。

### 【 講 師 】

特定非営利活動法人メイアイヘルプユー

保健師 鳥海房枝 元特別養護老人ホーム副施設長

豊島区の保健所を皮切りに保健師歴38年。保健所、障害者センター、お年寄り相談係を経て、1998年10月、新設の北区立特別養護老人ホーム「清水坂あじさい荘」に希望して赴任。保健師としての原点「生活への関わり」を要につくりあげた「あじさい荘のケア」が現場から大きな支持を受けていた。厚生労働省の身体抑制ゼロ推進会議の委員(マニュアル部会、ハード部会)、同じく東京都の委員のほか、東京都看護協会の保健師職能委員。



## 会場参加用申込書

※ オンライン参加の場合には、かなふく研修総合サイトからお申込みください。

※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。

法人名	
事業所名	
会員種別	( ) 会員 ( ) 個人会員 ( ) 一般
個人会員番号	

(公社)かながわ福祉サービス振興会(福祉教育課) 行  
FAX:045-671-0295  
TEL:045-210-0788  
〒231-0023  
横浜市中区山下町23日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 — ( 自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所 )
	〈mail〉 @
	〈電 話〉 — — 〈ファックス〉 — —
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係( ) ⑩ その他のサービス( )

### <参加者名簿>

お申込合計人数 ( 名 )

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( )	年	1.会員(¥7,000) 2.個人会員(¥7,000) 3.一般(¥8,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( )	年	1.会員(¥7,000) 2.個人会員(¥7,000) 3.一般(¥8,000)
連絡事項					